

職員による自己評価

A業務改善

保護者アンケートを実施して、意見や課題があればセンター全体で共有・検討し、次年度の運営に繋げている。研修費が予算化されており、職員体制を整えて受講できるようにしている。

B適切な支援の提供

毎日支援の開始前後に打合せを行い、クラスの状況に合わせたプログラムを提供している。記録と振り返りは毎日行い、適切な支援を行えるようにしている。活動のねらいは明確化し、準備も計画的かつ効率的に行うようにしている。

C関係機関との連携

就園先への巡回を通して連携を図っており、就学先の小学校からの希望に応じて引継ぎを行っている。その他、保護者同意のもと関係機関と情報共有を行っている。

D保護者への説明責任等

個別支援計画の支援内容は面談で説明を行っている。日々の療育内容はクラス便りや活動シートの配布、口頭にて保護者に伝えている。必要に応じて電話相談や臨時面談の機会を設けている。

E非常時等の対応

避難訓練を定期的実施している。怪我等が発生した場合は所内で共有し改善策を取るようにしている。熱性けいれん時の対応など書面で保護者と確認を行っている。

保護者による評価

A適切な支援の提供

9割以上の方から適切な支援が提供されているという回答をいただいた。活動の目的を分かりやすく説明する事で、保護者の方が客観的にお子さんの様子を捉える事に繋がっている。個別支援計画に基づいた支援と活動プログラムの工夫等は今後も心掛けていきたい。

B保護者への説明等

支援内容の説明や助言に関しては高い評価をいただいている。保護者同士の交流は毎回の振り返りの際に行っているが、満足度は76.5%と他の項目に比べて低かった。

C非常時等の対応

避難訓練はクラス便りに記載と数週間前の告知をして全クラスで実施したり、避難所等を所内に掲示しているが、保護者には印象が薄かったようだ。今後、保護者にも関心を持っていただけるような取り組みの検討が必要と思われる。

D満足度

8割以上の方からセンターの支援に満足という回答をいただいた。適切な課題設定で子どもの成功体験に繋がっている、子どもの様子を見て対応策の助言をもらえて保護者自身も成長に繋がっている、気軽に相談できる場になっており通う事ができて良かった等の意見を頂いた。今後も振り返りをしながら支援の充実に努めていきたい。

事業所内での分析

【共通点】

・日々の療育プログラムや保護者への活動のねらいの説明等について、保護者の方からも概ね高い評価を頂いた。又、子育てに悩んだ時の相談の場として捉えて下さっている意見もいただいた。

【相違点】

- ・避難訓練の実施についての保護者への周知が十分ではなかった。より関心をもっていただける周知の方法を検討する必要がある。
- ・保護者同士の連携支援について、日々の振り返りの時間や必要に応じてミニ懇談会等の機会を設けていたが、更に利用者の方の希望に合わせた支援が必要。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・保護者と職員のコミュニケーションを通じて、お子さんの発達状況や課題の共通理解や、子育てに関する助言等の家族支援が行えている。
- ・職員間の情報共有や業務改善、支援内容の確認や検討等が、日々行われている。療育センターの多職種間での連携が行えている。
- ・幼稚園、保育所への巡回訪問を実施することで、地域との関係性を大切にしている。
- ・就学先との連携を行う事ができている。

事業所の改善点

- ・非常時対応等の周知の仕方についての検討。
- ・保護者同士の連携支援についての検討。

事業所の改善への取り組み

- ・非常時対応等の周知について
職員のみで実施している訓練についても告知と報告を行う。又、避難器具の設置状況について周知する機会を作る。
- ・保護者同士の連携支援について
日々の振り返りやミニ懇談会等は引き続き継続して行う。
保護者同士で情報交換、交流できる場所の提供している事について、明確に周知する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者の非常時等対応、保護者同士の連携支援の評価は、取り組みにより昨年度より高めることができました。毎年の自己評価の結果をもとに業務を改善していくことの重要性を感じています。

保護者同士の連携支援については、改善策に取り組みながらより良い療育サービスを提供できるよう引き続き検討していきたいと思います。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。